

生活者向け防災ブランド+maffs（マフス）の「+ 住宅用消火器」 「2019年度 グッドデザイン・ベスト 100」を受賞。

モリタグループのモリタ宮田工業株式会社（本社：東京都江東区 代表取締役・田中幸男）が展開する、「防災をライフスタイルに。」をコンセプトに、生活者のライフスタイルに寄り添う防災ブランド「+maffs」（マフス）の第一弾プロダクト「+ 住宅用消火器」が公益財団法人日本デザイン振興会主催のグッドデザイン賞において、受賞対象の中で審査委員会により特に高い評価を得た100件として、「グッドデザイン・ベスト100」を受賞しました。



「+ 住宅用消火器」とそのデザインについて

「+ 住宅用消火器」は2019年1月に発足した、生活者向け防災ブランド+maffs（マフス）初めてのプロダクト。「防災をライフスタイルに。」というブランドコンセプトをもとに、住環境への調和を実現するため、マットな質感とシンプルなデザインを実現した住宅用の消火器です。

■住環境に調和するという特別な「機能」

従来の防災商品はその特性から「目立つ」という使命を持っていました。例えば、消火器は「赤い」。しかし目立つが故に、住環境に馴染めず、居場所を失った防災商品達は見えないところに追いやられて、いつしかその存在を忘れられることとなります。いざという時に、いち早く消火ができるよう、消火器を住環境に調和させて見えるところに置くということは、「+ 住宅用消火器」の最も特別な機能です。

■継続をデザインする「メモリータグ」

消火器には使用期限が定められていますが、忘れられることも多いのが現状です。メモリータグに自身で使用期限を書き込むことで記憶に残り、定期交換の認識を高められます。

審査委員の評価コメント

消火器をモノトーンカラーに変化させただけという小さな行為だが、空間における調和という点では非常におおきな行為だと感じています。おそらく視認性が良くなければいけないという意識からか、これまで当たり前のように赤色でなければいけないという考えがあり、そこにはあまり着手せず、長年受け入れてきたアイテムのような気がします。もしかすると他にも様々な分野で、このような変革が可能なものはあるのではないかと、またそれを変えていけるのではないかと意識を持たせてくれることも受賞のポイントになっています。

展示のお知らせ①

- 展 示 会 名：「私の選んだ一品-2019年度グッドデザイン賞審査委員セレクション」
- 会 場：東京ミッドタウン・デザインハブ
- 住 所：〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F
- 日 時：2019年10月2日（水）～10月25日（金）11:00～19:00
※10月6日（土）のみ休館
- 入 場 料：無料
- 詳 細：<https://designhub.jp/exhibitions/5321/>

展示のお知らせ②

- 展 示 会 名：GOOD DESIGN EXHIBITON 2019
- 会 場：東京ミッドタウン
- 住 所：東京都港区赤坂 9-7-1
- 日 時：2019年10月31日（木）～11月3日（日） 11:00～20:00
11月4日（月・祝） 11:00～18:00
※入場は閉場時間の30分前まで
- 入 場 料：無料
- 詳 細：<https://www.g-mark.org/gde/2019/index.html>

お問い合わせ先

■商品・商流に関して：
モリタ宮田工業株式会社 マーケティング課 担当：清水
TEL：03-3599-3169
+maffs brand website：www.maffs.jp

■イベント・報道に関して：
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当：村井・森田
TEL：03-6400-3485